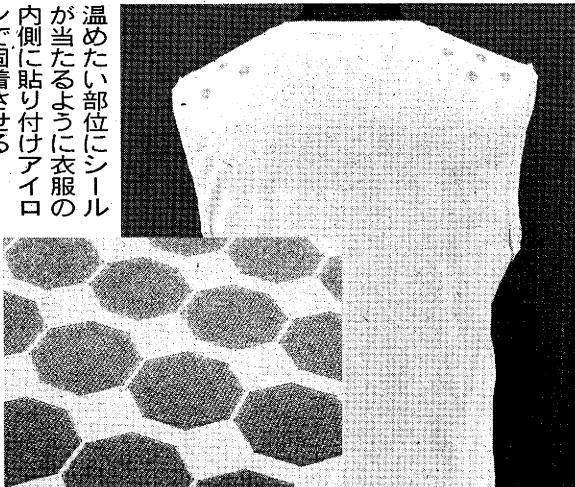


# ★★ イチ押し差別化素材

## 東光商事「ピタテラックス」

**肌着などに貼るだけで“あつたか服”**

東光商事は、遠赤外線を放射し、保温効果を高める機能加工を施した素材「テラックスホット」で、「手軽に機能を身に着ける」という発想で開発した衣料用シートを使う。



温めたい部位にシール  
が当たるように衣服の  
内側に貼り付けアイロ  
ンで固着させる

テラックスホットは、テラヘルツの電磁波を発する人工鉱石を活用したもので、体の熱エネルギーをテラヘルツ波の力で增幅し、衣服内の温度を上昇させる。これまでは衣服に使う生地の肌側にパウダー状の鉱石を染料などと組み合わせてプリントするという方法で、機能を付加していた。今回はパウダーを混ぜた特

ル「ピタテラックス」を開発した。首や肩、腰など必要な箇所を温めることができるように、手持ちの衣類の内側にシールを貼り付けたうえで、テラヘルツの電磁波を発する人工鉱石を活用したもので、体の熱エネルギーをテラヘルツ波の力で增幅し、衣服内の温度を上昇させる。これまでは衣服に使う生地の肌側にパウダー状の鉱石を染料などと組み合わせてプリントするという方法で、機能を付加していた。今回はパ

1セット320枚をA4サイズの台紙に貼り付けた状態で販売する予定。シール1枚当たりの大きさは12㎠。温めたい体の部位にシールが当たるように肌着などを手持ちの衣服の内側に貼り付け、当て布をした状態でアイロンを30秒押し当てて固着させる。同社による「体の部位1カ所当たり2~4枚程度が有効」という。

同様の発想で、放電シールの「ノンパチ」も開発した。売れ筋の放電テープ「放電君」を使っているステンレスをパウダー化してインクを開発し、ピタテラックスと同じ方法で加工。アイロンで衣服の必要な箇所に固着させ、静電気の発生を抑える。

殊なインクを開発し、印刷に近い方法で基材となる織物に加工し、シール化した。インクを基材に安定して固着させるための架橋剤も新たに開発した。